

令和 8 年 9 月 霧島市教育委員会定例会議事録（要約版）

日 時 令和 8 年 9 月 24 日 木曜日 午後 2 時 56 分～午後 3 時 33 分

場 所 国分シビックセンター行政庁舎 別館 3 階 教育委員室

出席者 池田教育長、鶴ヶ野委員、谷口委員、福田委員、甲斐委員

上小園教育部長、林元次長兼教育総務課長、皆倉学校教育課長、福永社会教育課長、
 鮫島国分図書館長兼メディアセンター所長、山下国分中央高校事務長、久保学校教育
 課指導監、宗像溝辺総合支所長、有村横川総合支所長、山口牧園総合支所長、栗
 野霧島総合支所長、梶福山総合支所長、横山教育総務課教育政策 G 長、坂元教育総
 務課教育総務 G 長

計 14 人

傍聴者 0 人

議 事

議案等番号	件名	結果
報告第 22 号	霧島市行事の共催等に関する取扱要綱の一部を改正する告示につ いて	承認
報告第 23 号	霧島市立学校における学校運営協議会設置規則の一部を改正する 規則について	承認
報告第 24 号	議会の議決を経るべき事件の議案の作成に関する答申（令和 8 年 度一般会計補予算予算（第 3 号））について	承認
報告第 25 号	議会の議決を経るべき事件の議案の作成に関する答申（令和 8 年 度一般会計補予算予算（第 4 号））について	承認

1 教育長の活動報告（令和 8 年 8 月 19 日以降）

8 月 20 日 教育委員と語る会
 市教育講演会
 8 月 21 日 令和 8 年度第 1 回霧島市いじめ問題対策委員会
 8 月 23 日 始良伊佐地区子ども会大会・創作活動大会
 8 月 26 日 文化庁調査官対応
 8 月 27 日 所長面談
 8 月 28 日 県外国語部会来庁
 8 月 28 日 義務教育課長・指導監 対応
 8 月 31 日 本会議（1 日目）
 9 月 1 日 始良・伊佐地区スポーツ協会連絡協議会第 1 回役員会及び始良支部第 1
 回役員会
 第 2 回始良地区駅伝運営委員会
 9 月 8 日 本会議（2 日目～5 日目）一般質問（9/11 まで）
 9 月 12 日 体育大会巡回（若駒学園）
 9 月 13 日 体育大会巡回（牧之原中）
 9 月 14 日 表敬訪問（鹿児島高専）
 9 月 15 日 計画合同訪問（天降川小）
 9 月 18 日 市教委訪問（大田小・持松小）

9月19日 体育大会巡回（国分南中、舞鶴中、隼人中、日当山中）
9月24日 教育委員会定例会

2 報告

報告第22号：霧島市行事の共催等に関する取扱要綱の一部を改正する告示

- 現行要綱の①教育委員会の所管外である産業振興が承認対象に含まれる矛盾、②市長を教育長と読み替える根拠規定の不在、③市長部局へ移管された文化スポーツ事務との関係が未整理といった不備を解消し、承認範囲を教育委員会の所掌事務と関連付けて明確化するための改正。質疑はなく、本件は承認された。

報告第23号：霧島市立学校における学校運営協議会設置規則の一部を改正する規則

- 法改正に伴い、学校運営協議会の承認事項に「教職員の業務量管理・健康確保措置の実施に関すること」を追加するための改正。各学校での十分な準備期間を確保するため、施行日は令和9年4月1日とする。質疑はなく、本件は承認された。

報告第24号：霧議会の議決を経るべき事件の議案の作成に関する答申（令和8年度一般会計補予算予算（第3号）について

- 万膳小学校の閉校記念式典助成、教職員住宅や小中学校施設の経年劣化に伴う修繕費、外国籍児童生徒支援のための新規事業費、市指定無形民俗文化財「鈴かけ馬踊り」の馬の飼育費高騰分を支援するための経費などが計上された。質疑はなく、本件は承認された。

報告第25号：霧議会の議決を経るべき事件の議案の作成に関する答申（令和8年度一般会計補予算予算（第4号）について

- 隼人学校給食センターの排水処理施設における自動制御機能の不具合を解消するため、制御盤の修繕費を計上。本件は緊急性を要するため、委員会審議を省略し9月8日付で即決成立済みであることが報告された。質疑はなく、本件は承認された。

3 その他

(1) 9月市議会定例会における教育部関連の一般質問と答弁要旨

● 体育館の空調設備と避難所機能

避難所指定校への空調設置には国の補助金（補助率2分の1）があるものの、補助基準単価が低いと市の財政負担が6～7割に達し、設置が進んでいない。現状では老朽化対策を優先しており、文科省の通知を踏まえ、災害時には空調が完備されている普通教室等の活用を検討することが説明された。委員からは、猛暑下で避難所が機能しない事態への懸念や、コストを抑えた防熱シート等の対策も検討すべきとの意見が出された。

● 学校の老朽化対策と「学校のあり方」検討

学校施設の長寿命化計画（5年間で26億円）に基づき、これまで国分・隼人地区中心に進められてきた大規模改修を、今後は中山間地域の学校にも優先的に展開していく方針が示された。また、複式学級の解消を基本方針とする「学校のあり方」については、令和9

年2月の最終指針答申を目指し、今年11月には草案をまとめる予定であることが報告された。委員からは、地域の状況に応じた柔軟な対応の必要性が指摘された。

- **不登校児童生徒へのオンライン学習支援**

タブレットの持ち帰りが進んでいない現状に対し、今後は教育委員会から指示を出す形で活用を促進する方針が示された。オンライン学習を出席扱いとする際は、単に接続するだけでなく、AIドリル等の課題に取り組み、その達成報告をもって認定する基準を設けていると説明。委員からは、安易な出席認定によりオンライン学習への流れが加速することへの懸念が示された。